

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【公開番号】特開2009-140152(P2009-140152A)

【公開日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2007-314673(P2007-314673)

【国際特許分類】

G 06 F 17/22 (2006.01)

G 06 F 3/023 (2006.01)

H 03 M 11/04 (2006.01)

H 04 M 1/247 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/22 502 G

G 06 F 3/023 310 L

H 04 M 1/247

G 06 F 17/22 520 S

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月17日(2011.8.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

キーを利用して文字入力を行う文字入力装置であって、

前記キーを有する入力キー部と、

変換候補を表示する変換候補欄と、

前記キーを用いたキー入力に応じて前記変換候補欄に変換候補を表示する変換候補表示部と、

前記変換候補表示部に表示されている変換候補から一つの変換候補を選択して変換確定をするための選択部と、

を有し、

前記変換候補表示部は、前記キーを用いた入力が実行されると、前記キーに割り当てられた文字からなる変換候補と、前記キーを用いた前記入力を変換した変換候補とを前記変換候補欄に同時に表示する文字入力装置。

【請求項2】

キーを利用して文字入力を行う文字入力装置における文字入力方法であって、

前記キーを用いてキー入力を行うキー入力ステップと、

前記キー入力ステップにおけるキー入力に応じて変換候補欄に変換候補を表示する変換候補表示ステップと、

前記変換候補表示ステップにて表示されている変換候補から一つの変換候補を選択して変換確定をするための選択ステップと、

を有し、

前記変換候補表示ステップは、前記キーを用いた入力が実行されると、前記キーに割り当てられた文字からなる変換候補と、前記キーを用いた前記入力を変換した変換候補と、

を前記変換候補欄に同時に表示するサブステップを有する文字入力方法。

## 【請求項3】

コンピュータに請求項2に記載の文字入力方法を実行させるためのプログラム。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

以下に、各発明を実施するための最良の形態を説明する。各実施形態と請求項の関係はおおむね次のようなものである。実施形態1は、主に請求項1～3について説明する。実施形態2～4は、主に請求項1～3に記載の発明に関連する発明について説明する。なお、本発明はこれら実施の形態に何ら限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において、種々なる態様で実施しうる。